


広報  花と緑と水のまち

みまた

Mimata Public Relations No.404 2004.April

4

平成16年4月1日発行

アスリートタウン in 三股 チャレンジRUN & ウォーキング



特集

平成16年度当初予算は「重点配分型予算」となっています

総額161億6,679万円。中長期的視点に立ち、継続的な歳出抑制と事業厳選に努めました。

市町村合併Vol.8

合併に関する「住民説明会」を開催

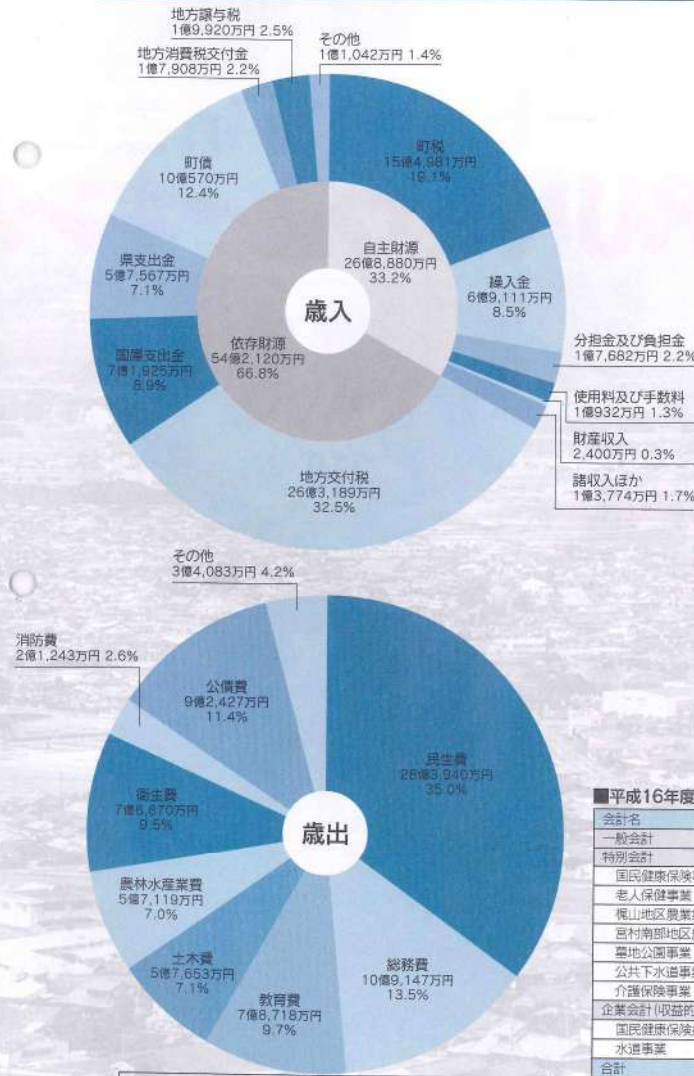
9カ所で延べ463人が出席しました。説明内容のほか意見や質問も掲載しています

中長期的視点に立ち、重点配分予算を編成

予算総額161億6679万円

平成16年度当初予算が決まりました。「一般会計」、「特別会計」、「企業会計」を合わせた予算総額は161億6,679万円で、15年度当初予算と比較して4.0%増加しています。特に、町が行政を運営する上での基本となる「一般会計」の予算額は81億1,000万円で、前年度比2.3%増となりました。今月号では当初予算の概要と主な事業について紹介します。

一般会計 81億1,000万円



■平成16年度 会計別当初予算額

会計名	予算額	前年度比
一般会計	81億1,000万円	2.3%
特別会計	69億2,934万円	6.7%
国民健康保険事業	24億9,694万円	9.8%
老人保健事業	21億4,600万円	△3.0%
幌山地区農業集落排水事業	4,946万円	2.8%
宮村南郷地区農業集落排水事業	3,786万円	△43.1%
豊地公園事業	3,089万円	△1.3%
公共下水道事業	7億2,089万円	44.5%
介護保険事業	14億4,780万円	6.4%
企業会計(収益的収入)	11億2,744万円	△0.2%
国民健康保険病院事業	7億3,406万円	0.0%
水道事業	3億9,338万円	△0.5%
合計	161億6,679万円	4.0%

※すべての表・グラフは四捨五入によるため、合計と内訳が一致しないことがあります。
※1地方財政状況調査に基づく分析後の数値です。

予算編成にあたって 歳出抑制と事業厳選

国、地方が厳しい財政状況にある現在、自治体は社会の変化に的確に対応していかなければなりません。

町では、第四次三股町総合計画の目標像「活力にあふれ心あたたまる住みよいまち、三股」の実現に向け、行政改革を推進し、中長期的な視点で真に必要な事業や21世紀の基礎固めとなる事業に、重点的、積極的に取り組むことなどを基本方針に、平成16年度予算を編成しました。

具体的には、昨年度行った「維持補修費や物件費などの経常的経費の10%削減」と「町単独補助金の3%削減」を、今年度も引き続き同率で実施、継続的な歳出抑制に取り組みました。また、効率的な行政サービスの提供を目的に、事務事業評価幹事会で16の事業について緊急性やその効果を見直し、真に必要な事業の選択を客観的に行いました。

16年度予算の特徴 —重点配分予算—

厳しい財政事情のもと、市町村

合併に対し「自立」を模索する本町の平成16年度当初予算は、地方交付税などの歳入減少により緊縮を余儀なくされたものの、徹底した歳出抑制と事業厳選に取り組んだ結果、限られた財源の有効な活用を図りながら、真に必要な事業に最優先して取り組む「重点配分予算」となっています。

歳入(一般会計)

「町税」や、保育料などの「分担金及び負担金」など、自主財源(自主的に収入し得る財源)は26億8880万円で歳入総額の33.2%となっています。特に、基金を取り崩す「繰入金」は抑える一方、「町税」は税法改正による町民税世帯均等割の増加や全棟調査による未評価家屋への課税などで15億4981万円(構成比19.1%前年度比69.82万円増)を見込んでいます。

「繰入金」には、目的基金(特定の目的のために積み立てた資金)を活用しましたが、財源不足を補うための「財政調整基金」と施設建設のための「公共施設基金」とを合わせ、取り崩し額を昨年度比2億円減額しました。将来へ財政負担をかけることのないよう努

ています。

一方、「地方交付税」をはじめとする依存財源(国や県の意思により定められた額を交付された)り、割り当てられたりする財源)は、66.8%と依然として高い比率を示しています。今年度も地方交付税の大幅な減額が見込まれており、町債の発行や繰入金を活用し財源を確保しました。

町が借り入れた資金「町債」は、多世代交流センター事業の推進などに10億570万円(前年度比3億7220万円増)を計上。償還(返済)に国から交付税措置が受けられる有利なものを選定し、将来に対して健全財政を確保するよう努めています。

歳出(一般会計)

目的別内訳としては、多世代交流センター建設事業をはじめとする福祉関係経費である「民生費」が28億3940万円(前年度比4億7562万円増、道路や公園などに要する経費「土木費」が5億7653万円(1069万円減)などとなっています。

ほとんどの経費について昨年度から減額させていますが、真に必要な事業と新規事業は積極的に予

算化を行いました。特に新規事業として、「衛生費」では乳児に絵本を配布し親子のふれあいに役立ててもらう「はつとママ事業」を新設。また「総務費」で自治公民館加入促進への補助を開始するほか、「土木費」で牧野橋橋りょうの耐震補強や町営中原第三住宅建て替えの準備に着手するなど、住民生活に密着した事業に予算を重点配分しました。



また、性質別内訳として、扶助費や人件費などの「義務的経費」は歳出全体の45.2%、公共工事などの「投資的経費」は16.3%などとなっています。

町では今後も第四次三股町総合計画などの主要な計画を基に事業の推進を行い、財政健全化に努めるとともに、長期的視点に立つて目標像である「活力にあふれ心あたたまる住みよいまち、三股」を築くため、地域の課題に積極的に取り組み、住民福祉の向上に努めます。

(※は16年度から新しく始める事業です。
「第四次三股町総合計画—基本方針」別にお知らせします)

活力にあふれる産業のまちづくり

- 基盤整備促進事業(用排水施設整備)** 1,700万円
長田地区温川用水路沿い(沖水川左岸)を整備し、災害の未然防止と用水量の確保に取り組みます。
- 新生産技術推進事業** 250万円
町内の優良牛と受精卵移植技術を活用し、肉用牛の資質と産肉能力の向上を図ります。畜産農家の経済性を高め所得向上を支援します。
- 地域水田営農確立条件整備事業** 1,407万円
水田農業の安定した取組と経営を図るため、農業機械の購入整備に対し助成を行います。
- 森林整備地域活動支援交付金** 1,582万円
森林整備の促進を図るため、山の手入れに必要な活動(現況調査や区域表示、作業路の整備など)を交付金によって支援します。
- ⑤**商品券発行助成事業** 75万円
町内の購買力流出防止を目的に、商工会による「プレミアム付き商品券」の発行を支援します。同券は販売金額の10%分が上乗せされます。
- 施設園芸振興事業** 231万円
農業経営の安定を目指して、収益性の高い施設園芸を奨励します。ハウス施設の建設整備費用を助成します。



和牛見学会

あたたかみのある福祉と健康のまちづくり

- 予防接種業務** 2,547万円
ポリオ、麻疹、BCGなどを計画的に実施します。
- 住民基本健康診査事業** 4,484万円
40歳以上の住民等を対象に、健診を年1回計画的に実施します。新たな検査項目として「前立腺がん検診」を加えます。
- 多世代交流センター整備事業(16年度分)** 5億6,040万円
多世代交流の場とともに福祉の拠点施設の一つとなる「多世代交流センター」を整備します。
- ④**人間ドック関連** 2,606万円
新たに「60歳到達者誕生月人間ドッグ」を加えます。
- ④**健康づくり地方計画策定** 215万円
健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現を目指した、21世紀の国民健康づくり運動(健康日本21)の推進に向け、17年度末までに町独自の基本計画と行動計画を策定します。まず16年度は現況調査とニーズ調査、その分析を行います。
- ④**新在宅重度心身障害者移送サービス事業** 17万円
ボランティアの協力を得て、重度の肢体不自由者と視覚障害者を対象に、通院や買い物など生活圏内での移動を支援します(月に4回まで利用可)。事業開始は6月の予定です。



リフトバスによる乗降

かおり高い文化と豊かな人間性を培う文教のまちづくり

- 小中学校施設整備事業** 5,730万円
三股中学校耐震診断、桃山小プール塗装、三股小耐震補強など各小中学校の施設整備を進めます。
- 図書館図書・AV資料購入事業** 1,650万円
図書館で図書やビデオを購入します。常に新しい情報を提供し住民サービスの向上を図ります。
- 文化会館自主文化事業** 1,500万円
自主文化事業を年間12回(月1回程度)開催予定です。
- ふるさと振興人材育成国内・海外派遣事業** 440万円
次世代を担う人材育成を目的に、中高生を海外(オーストラリア)へ、小学生を国内(沖永良部島)へそれぞれ派遣し研修を行います。
- 地域共同体験活動事業** 90万円
大人と子どもの交流活動や伝統芸能伝承活動など、地域に応じた内容で親子が行う体験学習に補助を行い、世代間交流を支援します。
- ④**ほっとママ事業** 47万円
親子がふれあう大切さを知ってもらい子育てに役立ててもらふ事業です。地域の母子保健推進員が生後3カ月の乳児の家庭を訪問し、子育ての相談に乗ります。また、生後5カ月の育児教室には絵本セットを贈り図書司書が「読み聞かせ」を指導します。



読み聞かせ

自然と調和した快適な環境のまちづくり

- リサイクル行政の推進** 2,767万円
資源ごみの回収や収集団体への補助金交付など、資源ごみのリサイクル化に積極的に取り組みます。
- 公園施設維持整備事業** 1億264万円
上米公園(パークゴルフ場)等の維持整備を行います。
- 下水道事業** 7億2,089万円
処理施設(中央浄化センター)の建設、管渠の整備を引き続き行います。今市、花見原、中原、下新地区の一部で供用を開始します。
- 合併処理浄化槽設置整備事業** 5,774万円
小型合併浄化槽を設置する人に補助金を交付します。
- ④**自治公民館加入促進事業** 155万円
町では30の自治公民館組織を利用し行政事務連絡体制を構築していますが、円滑な運営には年間1,200人に上る転入者の自治公民館組織への加入が欠かせません。そこで転入届出時に加入の必要性を説き、加入を促す事業に補助を行います。
- ④**中原第三団地建替事業** 1,460万円
3階建て5棟(115戸分)の17年度建て替えに向け、地質などの調査や実施設計を行います。
- ④**橋りょう耐震補強対策工事** 1,580万円
牧野橋(昭和44年架設)が老朽化したため、地震に耐える補強工事と耐久性を図る全面塗装を行います。



牧野橋

SHISEI HOUSHIN
施政方針



桑畑 和男
桑畑町長は町議会平成16年第2回定例会の冒頭、今年度の町政の進め方(施政方針)を述べました。(ト)は職を示します

…平成16年度の町政運営について私の所信の一端を申し上げます。

「自然と調和した快適な環境のまちづくり」について、…町営住宅の老朽化の状況もふまえ、快適な生活の場を提供してまいりたいと存じます。…環境保全については、環境への負荷を少なくし、循環型(み)行政を基調とする社会実現のため、環境保全に関する施策を進めてまいります。…

「かおり高い文化と豊かな人間性を培う文教のまちづくり」について、…主体的で調和のとれた生涯学習の推進に努めているところであります。…社会教育の充実については、自主文化事業の充実、読書活動の推進、文化会館と図書館のさらなる活用を図ってまいります。…三股中の整備計画につきましては、当初計画の18年度着工

をめどに、取り組んでまいれる所存であります。

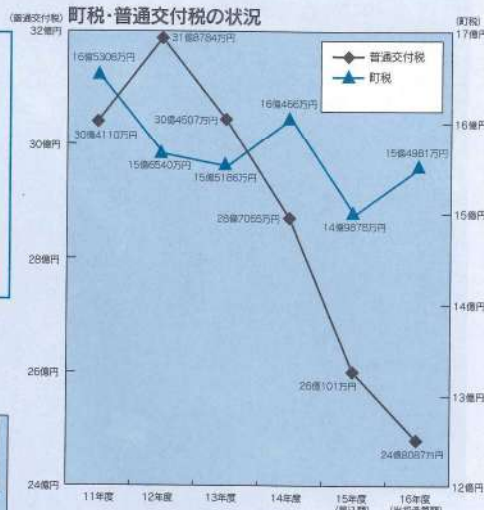
「あたたかみのある福祉と健康のまちづくり」について、…総合福祉施設いわゆる「多世代交流センター」については、町内に居住するあらゆる世代の人々が交流を深め、親しまれる施設として多くの町民が期待を寄せているものであります。…健康管理センターを生誕健康づくりの拠点として充実を図ってまいります。…

「活力にあふれる産業のまちづくり」について、…農畜産業は本町の基幹産業であり、その振興は本町経済にとって最も重要なものであります。…生産性の高い安定した農業経営を展開するために特産品の開発と農道・用排水路等の土地基盤の整備、…安全で高品質な農畜産物の生産に努め競争力の強い産地形成を目指してまいります。…

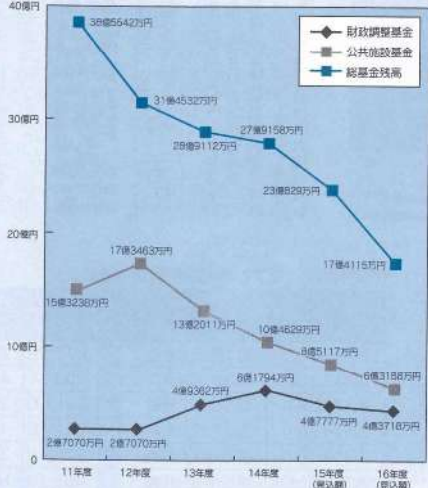
私は平成16年度を「行財政改革元年」と位置付け、町民が将来に希望をもてる三股町再生に向けて努力してまいりたいと思っております。…町民主体の施策を展開すべく、町民各位のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。施政方針といたします。

町税・普通交付税

町税は、皆さんから納めていただく町民税や固定資産税、軽自動車税などです。16年度一般会計歳入の19.1%を占める大切な財源ですが、景気低迷などで伸び悩んでいます。
 地方交付税は、地方自治体が「最低限の行政運営を行えるよう国が所得税や酒税などを財政需要に応じて交付するもので、一般会計歳入の中で最も大きい財源です(16年度32.5%)。しかし年々減少してきて、昨年度当初予算と比較して1億9,081万円の減収が見込まれています。
 とともに町の収入の根幹を成すものですが、近年の減少傾向は予算編成に大きな影響をもたらしています。



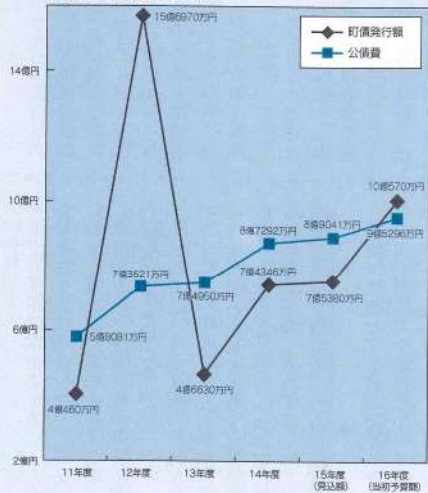
基金の状況



基金

基金は特定の目的のために財産を維持し資金を積み立てるなどのために設けられます。町の一般会計には現在12種類の基金があり、各事業の大切な財源となっています。
 16年度一般会計歳入に、これらの基金から6億8,890万円を繰り入れて、歳入総額の8.5%を確保しました。各基金が減少傾向の中、財源不足を補うための「財政調整基金」と施設建設のための「公共施設基金」の取り崩し額を、合計で2億円削減し(昨年度比)、基金の減少を抑制しました。市町村合併において自立を模索する本町にとって、将来に負担を掛けないための措置です。

町債・公債費の状況



町債・公債費

町債は町が借り入れる資金のことで、大規模な事業に取り組む場合などに増加します。例えば12年度は総合文化施設建設事業が主な要因です。
 14年度からの緩やかな増加は「臨時財政対策債」が主な要因です。減額された地方交付税の一部相当額を町債として発行しますが、償還には国から交付税で補われます。
 公債費は、町の借金や一時借入金などの償還(返済)費用です。財政シミュレーションでは、今後の建設事業計画を考慮しても16年度が償還のピークであり、その後緩やかに低減していくと試算されています。

町体育館耐震補強改修 7,720万円



老朽化(昭和39年建設)に伴い耐震補強工事を行ったほか、床板全面張り替え、トイレ(バリアフリー)改修、照明機器の増設(9基から15基へ)を行いました。

小中学校施設整備 4,447万円



小中学校の施設整備を図りました。主なものとして中学校南校舎屋根防水、三股西小学校床改修、中学校体育館板壁改修などの工事を行いました。

多世代交流センター(仮称) 1億5,023万円



15年度は温泉館の断念に伴い設計変更を実施し、今年3月に本体工事に着手しました。12月に竣工し、17年4月にはオープンする予定です。

消防車両更新 2,126万円



小型動力ポンプ積載車3台(消防団第1部・3部・7部)を更新。照明機器を搭載し夜間の災害や人捜しに効果を発揮します。15年度で積載車の更新を完了、総合的な機動力向上が図られました。

第2地区交流プラザ・公民館、駐車場兼広場整備 1,288万円



第2地区交流プラザ西側の児童プールを撤去し多目的に使える広場(460平方メートル)を造成しました。また地区公民館広場(1,650平方メートル)の水はけ対策に暗渠(=地中の管)を設けました。

公園施設整備 1億2,104万円



各公園の施設整備を図りました。上米公園(パークゴルフ場)の造成、権八重公園内を散策できる園路の整備、旭ヶ丘運動公園野球場のスコアボード改修などを行いました。

合併に関する住民説明会

説明の概要・質問と意見

3月12日から22日にかけて「市町村合併に関する住民説明会」が開かれました。地区公民館単位の9カ所、延べ463人の住民が出席。桑畑町長が1市5町の法定協議会に参加した理由や財政改革への取り組みについて説明を行ったほか、出席者からは質問や意見が出されました。今月号では説明会での説明の概要と会場で出された「質問と意見」についてお知らせします。



「市町村合併に関する住民説明会」参加者数

実施日	開催場所	参加者数		
		男	女	計
3月13日(土)	第1地区公民館	47	29	76
3月12日(金)	第2地区交流プラザ	40	6	46
3月14日(日)	第3地区公民館	34	5	39
3月15日(月)	第4地区公民館	36	8	44
3月16日(火)	第5地区公民館	27	8	35
3月17日(水)	第6地区公民館	46	19	65
3月18日(木)	第7地区公民館	64	13	77
3月20日(土)	第8地区公民館	32	7	39
3月22日(月)	第9地区公民館	34	8	42
計		360	103	463



住民説明会(3月16日・第5地区公民館)

町は3月12日から22日にかけて、第2地区交流プラザなど地区公民館単位の9カ所、1市5町での法定協議会に参加した理由や、今後の財政改革への取り組みについて説明しました。

説明会には町三役と関係課長ら6人が出席。1市5町での法定協議会に参加しなかった理由や、今後の財政改革への取り組みについて説明しました。

桑畑町長は「合併は町民のためになるものでなければなりません。しかし分析の結果、現時点では合併の効果が期待できない」と説明。また、地方交付税の減額が予測されるなどの財政見直しについては、平成32年

度までの長期試算結果を基に「人件費や補助事業の見直しなど、町民と行政が一体となって取り組んでいく必要がある」と財政改革の具体案を示し、理解を求めました。

9日間で延べ463人の住民が出席。「法定協議に参加してから判断しては？」「いずれにしてもサービスが落ちないことを望む」「改革案には町民の意見を取り入れてほしい」などの質問や意見が出されました。

説明の概要と、会場で出された主な質問(回答)や意見については次のとおりです。

説明1 市町村合併に対する町の考え方 —1市5町の法定協議会に 参加しなかった理由—

①先人が築いた歴史ある三股町を存続させたい

先人、先輩方が長い歳月をかけて開拓し構築した歴史と尊い教育、伝統文化を後世に継承し、緑豊かな住環境に恵まれた三股町を可能な限り存続させていきたい。

②合併のメリットが期待できない

合併を進めるのであれば、「合併してどのような自治体を形成し活性化していくのか、中長期的な理念と目的を示すこと」が重要。また、「合併は「町民の生活と行政サービスが向上する合併でなければならない」が、現在の1市5町での合併は市の規模が大きくなるだけで、これらの効果があまり期待できない。

③長期財政シミュレーションの結果

今までより厳しくなるものの、財政改革に取り組むことで健全な財政運営が可能であり、単独行政を選択しても大きな支障がない。

④住民アンケートの結果、1市5町での合併を希望する人は、全体の22.5%

昨年9月に実施した「市町村合併に関する住民アンケート」の結果は、「合併したほうがよい」が「合併しないほうがよい」を50.3ポイント上回ったものの、「1市5町での合併」を希望する意見は全体の22.5%であった。

⑤地方制度調査会の最終答申の内容
昨年11月に示された「地方制度調査会最終答申」によると、小規模町村の人口はおおむね1万人未満を目安としており、人口が増え続けている本町は、基礎的自治体の要件を十分に満たしている。

説明2 行財政改革 —町民と行政が一丸となった 取り組みを—

①財政面の見直し

国で進められているさまざまな改革は、住民生活に直接的に影響します。具体的には、地方交付税や補助金の大幅な減額などによる地方自治体の財政面での影響です。

本町は、こうした地方交付税や補助金などの「依存財源」が収入の66.8%を占めています(16年度)一般会計当初予算・2ページ特集記事。決して豊かな財政状況ではなく、現状のままでは将来の財政運営が大変厳

しくなることが必至です。

②行財政改革とは

住民の日常生活に直結するさまざまな事務事業を根本的に改めることを、「行財政改革」といいます。

本町では「行政改革大綱(平成7年制定・11年改訂)」に沿って、あらゆる改革に取り組んできました。これまでも「組織機構の見直し」「給食センターの管理運営委託」「老人ホーム・保育所の民営化」「公園施設管理の外部委託」「電算導入による事務の効率化」などの改革を行ってきました。

③行財政改革元年

このことを踏まえ、町では今年度を新たに「行財政改革元年」と位置付け、町民と行政があらためて共通の認識に立つて抜本的な行財政改革に取り組む、より効率的な行政運営に努めて行くという考えです。

④改革事項の具体案

見直しによる具体的な改革事項案は次のとおりです。

1 歳入の改革事項

○適正な負担
保育料や施設使用料をはじめとする「分担金・負担金及び使用料」「手数料」などを他の市町村と比較し

ながら適正な額として見直しを図ります。また、税や公共料金などの徴収率向上にさらに努めます。

2 歳出の改革事項

○人件費
・一般職員
組織機構の見直しと適正な職員配置により、職員数10~20%を目標に削減し人件費を抑制します。
・特別職
特別職、議会議員および各種委員等の定数などを見直し人件費を削減します。
○事務事業
・物件費等
各費目の内容、必要性などを検討し、削減率の目標を定めて計画的に見直しします。

・扶助費等
個人を対象とした現金給付など(法律に基づいたものを除く)は、より効果的な福祉施策を推進するため、事業内容や基準を見直し縮小または廃止します。また他の市町村とも比較し適正な内容とします。

・補助費等
行政と町民の役割分担を明確にし、公益性の低いもの、所期の目的を達成したものは廃止します。各種団体への補助金は事業内容と補助効果を評価し、縮小または廃止し

ます。
 ・普通建設事業の適正な計画
 新たな事業および既存施設の大規模改修などは、有効な補助率や投資効果、管理運営方針など、事業を評価しながら周到な計画のもとに実施します。
 ・公共施設の管理運営
 公共施設は目的に応じて個々の課で管理しているものを、施設によっては、任意組織や施設協会および管理公社などで総合的、効率的に管理する組織を構築し経費節減を図ります。

3 改革事項の進め方

今年度には改革の素案を作成し、17年度から段階的に見直します。16年度から直ちに直直すものもある。改革内容は、庁内で組織する行政改革推進委員会や、各種団体代表者で構成する行政改革懇話会で議論し、その結果を公表します。

4 その他の取り組み

・町がより活性化するには人口増が不可欠。今後も人口増を続けるため、バランスのとれた宅地開発事業に取り組みます。
 ・依然として景気が低迷する状況だが、雇用の場の確保に向け積極的企業への誘致に取り組みます。

と考えているが、町は今後、アンケートや住民投票を行う考えがあるか？

A・法定協議会に参加しなかったのは、さまざまな角度から総合的に判断したこと。決してアンケートだけを重視して判断したのではありません。アンケートおよび住民投票の実施については、現時点では考えていません。
 Q・昨年12月に法定協議会に不参加を表明してから、住民への説明が遅かったのはなぜか？

A・「1市5町以外の枠組み」も検討されている中であつたため、他町の議会議決の状況を持った上で住民説明を実施しようと計画してました。結果として、説明会の実施や町広報紙による情報提供が遅れたことに対してはお詫びします。
 Q・住民に対して、市町村合併についての情報提供が少なかったのではないのか？

A・合併の説明会は一昨年から行っており今回が3回目です。「広報みまた」ではこれまで7回にわたり報告し、周知を広く図ってきました。また、要望により地域に出向いて出前説明会を実施してきました。地域の会合でも情報提供に加え、多くの住民の方々と意見を交わしてきたと考えています。

会場では出された質問(回答)

Q・合併しなかった場合「税金が上がる」ということがあるのか？

A・住民税の均等割については合併に関係なく、平成16度から全国均一3000円(1世帯あたり)になります。その他の税については現時点では、「単独」を理由に税率アップは考えていませんし、都市計画税の課税も考えていません。しかし将来、財政状況に応じては皆さんにお諮りしながら検討していかなければなりません。
 Q・合併しないと、現在、広域で取り組んでいる事業(消防、ゴミ、救急医療など)はどうなるのか？

A・昭和45年の設立当初から施設の整備や運営などに、三股町として負担してきています。合併しないからといって、三股町だけを広域事業から除くということはありません。今後1市4町と協議は必要ですが、三股町は引き続き現行のままでも取り組んでいきます。
 Q・今後も絶対に合併はしないということか？

A・今後も可能な限り三股町のままでも存続できることを目指しますが、現在「道州制」も議論されており、

会場では出された意見

「広い角度で議論を」

今日の説明を聞いて自分の間は単独でいいが、将来のことについてもう少し色々な角度から考えてほしい。

「雇用の確保を」

合併するにしろ、しないにしろ雇用の拡大を図る必要がある。

「地方交付税が心配」

合併しないと地方交付税も削減される、最後はなくなってしまうのではないかと心配である。

「時期早尚」

住民アンケートは4割ぐらいの回答。この結果で不参加を決めたのは時期尚早であるような気がする。18歳くらいからの住民投票で決めればいいのではと思う。

「関心は「住民負担」」

町民の関心は「住民負担がどうなるのか」といったことだと思う。

「益地全体の視点で」

J A 地域は既に1市5町で合併しており他の支障もない。市町村合併は、三股町のことだけを考えるのではなく都城益地全体で考えてほしい。

「対等に合併できるのか」

大きな市と小さな町で対等に協議

将来、どうしても合併しなければならぬ状況が訪れることも考えられます。

Q・合併せずに行政改革を進める中で、町立病院のあり方をどのように捉えているか？

A・町立病院は、公立病院ならではの役割を担っており、町民の健康を守るためにも存続していきたいと考えます。また、各種団体代表者で組織する「町立病院の将来を考える会」からも「存続すべき」との提言を受けています。今後も住民の意見を尊重した上で、経営健全化に向けて改善していくべきだと考えます。
 Q・財政的に厳しくなる中、合併し



ないとなると小規模校は廃校となるのか？過疎化の著しい長田地区に対してどのような過疎対策に取り組んでいるのか？
 A・学校の統廃合はまったく考えていません。また、長田地区における過疎対策として、過疎地域定住促進奨励金、開発公社による宅地分譲、小学校の複式学級対策(補助教員の配置)に取り組む、過疎解消に努めています。
 Q・三股町が赤字になってから「合併してくれ」と言っても、対等に扱ってくれる保障はないのではないのか？
 A・自治体は差別してはならないことが地方自治法にうたわれていますが、後から合併したから特別に負担が高くなったり、サービスが低下したりということはありません。どの地方公共団体もお互いに、「住民の福祉の向上」を目指していませんから、差別されることはありません。
 Q・合併しないと国からの地方交付税をもらえないのか？
 A・地方交付税は、自治体が標準的なサービスを提供できるよう交付されるもので、自治体が存在する限り交付されます。
 Q・今回の決断は、アンケートの結果が重要な位置を占めたのでは？



住民説明会(3月12日・第2地区交流プラザ)

して合併は現実的には無理だと思ふ。しかも合併した場合は、公共施設や道路等は中央から整備され、郡部は後回しにされることになるのではないかと不安である。
 「地域がさびれる」
 過去に合併した地域の方から合併して地域がさびれたとの声を聞いている。合併は、慎重に対応してもらいたい。

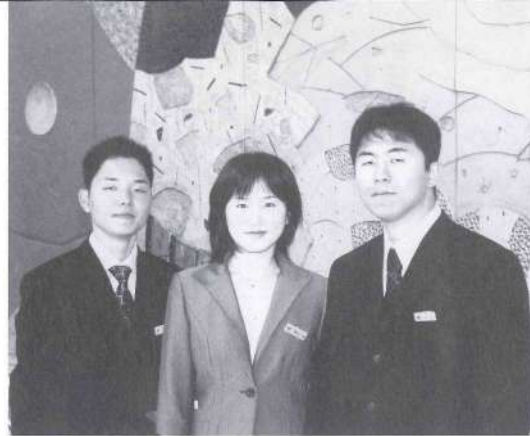
出前説明会をご利用ください

町では「市町村合併に関する出前説明会」を行っています。今回の住民説明会に参加できなかった方や「詳しく合併問題について説明を聞きたい」という方々のために、職員が出向いて説明を行うものです。対象は地域や団体、グループ、職場など一定数の参加者がある場合です。希望日の3日前までに企画調整課へご連絡ください。今後多くのご意見をお待ちしています。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

■問い合わせ
 企画調整課 ☎52-1111(内線242)

新規採用は3人、異動総数は46人

町は4月1日、課長7人、課長補佐4人、係長6人、一般職29人新規採用3人を含む、計46人の人事異動を発令しました。組織の機構改革を見据え、例年と比較して小規模の異動となっています。※現職、前職、氏名の順



【新規採用】(左から)下沖克徳・高山幸子・金丸浩介

【新規採用】

税務課住民税係 高山幸子
町民生活課戸籍住民係 金丸浩介
耕地課農村整備係 下沖克徳

【課長】

町民生活課長(都市計画課長)溝口良信▽都市計画課長(水道局長)福重守▽水道局長(町民生活課長)指宿秋廣▽農業委員会事務局長(学校教育課長)外園純一▽学校教育課長(議会事務局)局長 野元祥一▽議会事務局(福祉保健課課長補佐)岩松健一▽町民室長(兼務)総務課長(原田順一)

【課長補佐】

企画調整課課長補佐(行政改革)企画調整課課長補佐(合併)大脇哲朗▽福祉保健課課長補佐(社協)福祉保健課課長補佐(山元道弥)健康管理センター事務次長(国保年金)健

康管理センター国保年金係長(綿屋良明)町民室長補佐(兼務)総務課課長補佐(二宮利博)

【係長】

町民生活課環境係長(農業委員会農地調整係)久保田理▽農業委員会農地調整係(生涯学習課公民館係)米村明彦▽生涯学習課文化係(町民生活課環境係)盛満美代子▽生涯学習課公民館係(農林振興課農政係)中原信昭▽学校教育課学校教育係(税務課納税管理係)福永朋宏▽耕地課農村整備係(耕地課農村整備係)園田春幸

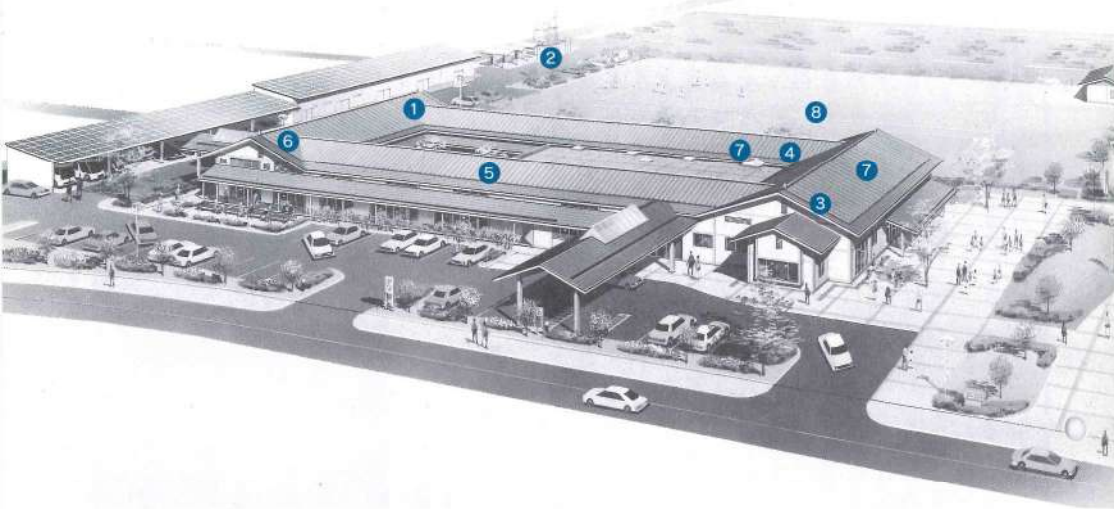
【股長】

総務課秘書広報係(福祉保健課児童福祉係)新原正人▽総務課行政係(税務課住民税係)山元美和▽企画調整課商工観光係(企画調整課情報システム係)矢野朋美▽企画調整課情報システム係(福祉保健課高齢者福祉係)大崎俊英▽企画調整課企画調整係(総務課秘書広報係)岩元勝二▽会計課会計係(生涯学習課社会教育係)永山誠▽健康管理センター保健指導係(健康管理センター国保年金係)森田直美▽健康管理センター国保年金係(健康管理センター保健指導係)谷口さとみ▽健康管理センター国保年金係(生涯学習課社会教育係)上原さとみ▽農林振興課農政係(耕地課農政係)下西志浩▽耕地課農政係(町民生活課

環境係)立山大輔▽建設課土木係(水道局工務係)永吉由貴▽税務課納税管理係(耕地課農村整備係)大岩根猛▽町民生活課戸籍住民係(福祉保健課児童福祉係)王原由紀子▽町民生活課環境係(福祉保健課社会福祉係)津由浩二▽福祉保健課社会福祉係(町民生活課戸籍住民係)飛松誠一▽福祉保健課児童福祉係(生涯学習課社会教育係)佐澤一成▽福祉保健課児童福祉係(町民生活課戸籍住民係)出水真弓▽福祉保健課高齢者福祉係(生涯学習課文化係)補見千穂子▽福祉保健課高齢者福祉係(健康管理センター国保年金係)下石裕子▽学校教育課学校教育係(町民生活課環境係)頼川宗一郎▽生涯学習課社会教育係(学校教育課社会教育係)大浦英一郎▽生涯学習課社会教育係(会計課会計係)竹村恵美▽生涯学習課社会教育係(企画調整課商工観光係)高山秀榮▽水道局工務係(建設課土木係)内村榮男▽町民室(兼務)総務課女性係)山田直美

【退職】

大河内清彦(町民室長)
山田忠雄(都北衛生センター管理組合事務局長)
谷山悦子(農業委員会事務局長)
児島シツ子(町立病院)
出水シツ子(町立病院)
野瀬志保子(町立病院)



多世代交流センター(仮称) 着工

心と体の健康づくり 生きがいづくりを目的に

「多世代交流センター」(仮称)の建設が始まりました。心と体の健康づくり、生きがいづくりを目的に、17年4月のオープンを目指しています。住民福祉向上の拠点施設として、また、幅広い世代の方々に利用される施設として期待されています。



起工式

2月19日、文化会館西側で、「多世代交流センター」(仮称)の本体建設が始まりました。12月末に工事完了、17年4月にオープン予定です。

多世代交流センターは「心と体の健康づくり、生きがいづくり」を目的としています。温泉を活用しながら、住民福祉向上の拠点施設として、また幅広い世代に利用される施設として期待が寄せられています。延床面積は約1683平方メートルで、町立図書館(約1584平方メートル・総合文化施設東側部分)とほぼ同じです。

■施設内容

- 温泉の活用 ①生きがいテイサービス ②温泉スタンド
- 福祉の充実 ③子育て支援センター ④障害者サポートセンター
- ポランテシア室
- 多世代交流 ⑤創作室 ⑥各種会議室 ⑦多目的広場

その他の機能 社会福祉協議会事務局・訪問看護ステーション・福祉団体活動室・調理室・相談室・介護用品展示コーナー

町では17年4月からの円滑な施設運営を目指し、若手町職員ら14人による「ワーキンググループ」(作業部会)を組織。課を超えた横断的な議論で、あらゆる利用ケースを想定し、町民ニーズに応える効果的な運用や管理体制を協議しています。

■問い合わせ

多世代交流センター準備室
☎5211111(内線165)

①コンサート「パンキエーリシンガーズ」
②舞台「花も実もある」



ヒーリングヴォイス〜天使の歌声〜

3月3日、『パンキエーリシンガーズコンサート』を開催しました。

このプログラムは門川町、串間市の各ホールと連携して行われたもので、県立芸術劇場も含め4館が綿密に協議を重ね公演に至りました。

パンキエーリシンガーズは、ハンガリーの少年少女合唱団出身のコーラスグループ。ヨーロッパで数々の国際コンクール1位入賞を果たした実力の6人組です。この日も、彼らの奏でる美しいハーモニーが会場中に響き渡ると、観客は何かに癒やされ、開放されたようにため息をもらっていました。

第2部ではビートルズのナンバーのほか、美しい日本語の響きそのままに『島唄』や宮崎県民謡『刈り切唄』などを歌い上げました。アンコールはザドリフターズの『いい湯だな』。ユーマアタつがりの選曲と舞台上に会場からは笑い拍手が起りました。

の日は桃の節句。最後に『うれしいひなまつり』を会場全体で合唱しました。

舞台上で炸裂、バアちゃんパワー!!

3月6日、『座ふたりでバア!』による舞台「花も実もある」を開催しました。座・ふたりでバア!は、高岡町在住の演劇い子さん由加里さん親子と、フリーの舞台俳優、木内里美さんの一座。「花も実もある」(演劇作・木内演出)は、97年から続く「あやちゃんシリーズ」第5作です。開演前、演劇い子は「観客を巻き込みますよ」と、会館職員に大胆予告。幕が上がるやいなや90歳と80歳の「バアちゃん」の掛け合いに会場は大爆笑。朝食のシーンでは「生つぶがでてきた」と話す人もいたほどの名演技を見せ、演劇い子の予告とお見事にはまった観客は、舞台と一体となって芝居を楽しみました。終演後、観客を出迎えた一座を見て「こんな若い人だったなんて!」の声も。その演技力に感心していました。

交通事故はもうたくさん

あがな

贖いの日々

誤った選択

その日はようやく道端の雪も消え、私の地元でも遅い春を迎えようとしていた4月7日でした。

私が勤めていた会社に新入社員が入り、その夜は同僚と若者たちだけで歓迎会をやるということでした。その日は休日ですが、夕方近くに車でその会場である居酒屋へ向かいました。これが最初の選択ミスだったのかも知れません。会場となっていた居酒屋は私の家から歩いて行っても30分くらいで着ける所がありました。その時は、帰りは運転代行を頼めばいいと考えており、そんなに深く考えず駐車場に止め、店に向かいました。

うたげも始まり、ビールと焼酎を飲んでみましょうか。同僚と楽しく時間を過ごしました。その会も終わりに差し掛かり、支払いを済ませようとした時でした。ズボンがポケットに手を入れたのですが、そこに財布はありませんでした。そこからが、すべての始まりでした。慌てた私は周囲をくまなく探しましたが見つかりません。車中にもやはりありませんでした。

贖いの日々、罪を償っている意味合いに思える。人は交通事故を引き起こして加害者や被害者になる。友人や知人などから関係が壊れて、自ら犯した罪を反省している様子や友人の苦しみから目をそらさず、このように悲惨な事故を引き起こさないよう、の戒めにしていただきたいと思います。(財)東京交通安全協会(提供)

K・K 26歳 会社員

次と思ったのは家に置き忘れてきたのかも知れないということでした。私は姉に電話をかけましたが、あいにく外出中で確認が取れませんでした。それが第二の選択ミスだったと思います。直接、自宅に電話をかけ母親にでも確認をとってあげれば、この後の悲劇は起きなかつたのではないのでしょうか。

その後は雪崩が起きたように、頭の中には混乱と動揺で次の行動を決めていません。近くにいた同僚に「家に確認に行ってくる」と言い車に乗っていたのです。これが最後の最大な選択ミスだったと今でも後悔しています。その時にも選択肢はあつたはずでしょう。同僚からお金を借りていけば自分の車に乗らずに済んだでしょう。お酒を飲んでいない人もいましたから、その人に運転してもらつてもできたでしょう。タクシーや運転代行を頼むこともできたでしょう。今考えるといろいろ選択肢はあつたはずなんです。

そこで、その後の運命は決まっていました。家に向かう途中、運が良いのか悪かったのか、その一直線の道の信

①50万人目の入館者、前野珠玉さん(右)
②「おはなし隊」による読み聞かせ
③「キャラバンカー」は楽しさいっぱい!



50万人到達!!図書館入館者

2月10日、図書館入館者が50万人を突破しました。平成13年11月3日の開館から2年3カ月あまり、開館日数にして6200日目の到達です。

記念すべき50万人目は前野珠玉さん(大字吉村)で、図書館から記念品が贈られました。贈呈式で桑畑町長は「多くの方々に利用していただいており、ありがとうございます」とあいさつ。図書館には、1日平均約800人が訪れ、約1200冊の本を貸し出しています。

前野さんは「建物も新しいですが本も新しいものが多いので、1、2週間にも1回は通って家族の分も一緒に借りています。50万人目になるとは思ってもみませんでした」と話しました。

本と遊ぼう「おはなし隊」来町

2月20日、楽しい絵をたくさん描いた「キャラバンカー」に本を満載し

て、全国の図書館や幼稚園、保育所を訪問し読み聞かせなどを行っている「全国訪問 おはなし隊」が、2月20日、三股町立図書館にやってきました。この日、読み聞かせ会場となった多目的ルームには、親子連れ約60人が集まりました。町内の読み聞かせボランティアグループ「ぶどうの会」や、おはなし隊の長澤隊長による絵本や紙芝居の読み聞かせに、子どもたちは真剣なまなざしで聞き入っていました。終了後は「今後の参考になりました」と話すお母さんもありました。

休館日(23日にカレンダー)

●毎週月曜日(この日が祝日の時はその翌日・祝日・毎月第3水曜日(館内整理日)・館内資料一斉点検(1年1回15日以内)



アンソニー・チュイ Anthony

みんなVサイン

大分暖かくなりましたね。最近保育園や幼稚園を訪ねるとき、カメラをもつて行って写真を撮るたくさん撮ります。子供は写真を撮られるのが大好きで、「撮って!撮って!」と言って、撮った後にすぐ「見せて!見せて!」とよく言います。日本では写真を撮るときVサインをする人は多いけど、オーストラリアではたまに、小さい子どもなのに、カメラを出す时必须Vサインをするのでちょっとびっくりしました。訓練が早いですね(笑)。



みんなニコリ、Vサイン!

交通事故(人身)発生ワースト

◎県内12位/平成16年1月29日現在
44市町村発生ワースト(多い方の順位)

■ まちの話題 ■

買い物客からの善意
学校教育に役立てて



みまたんスタンプ会

独自のスタンプシールを発行し、買い物客に喜ばれている、みまたんスタンプ会（久木山寿六会長、39店舗）は、3月4日、宮村小学校PTAを通じ同校に、シール1万4285枚（2万円相当）を寄付しました。寄付されたのは買い物客が店頭の募金箱に入れたシールを集めたもの。児童らは贈られた善意に感謝しながら、丁寧に紙に貼り付けました。同会は購買力促進を目的に平成14年6月から事業を開始。シール350枚を500円で換金するほかイベント開催も好評です。久木山会長は「ようやく浸透してきたと感じます。地域密着の事業で各店舗の力を結集し発展を目指したい」と話しました。

春の花を楽しもう
ガーデニング教室



新ひむか「花いっぱい運動」

3月6日、新ひむかづくり運動三股町民会議（亀澤薫会長）主催による「ガーデニング教室」が、マイガーデン（西植木）で開かれました。教室は同会議が進める「花いっぱい運動」の一環で年2回の開催です。この日は午前と午後に分かれ計40人が参加しました。講師の下石正治さんから「植物と水、肥料、農薬との関係」について1時間の講義を受けた後、いよいよ実技へ。参加者は気に入った季節の花を選び、高さや左右のバランスを見ながら1本ずつ丁寧に鉢に植え付けていきました。勝岡の有村三郎さんは「孫と妻の3人で来ました。ガーデニングは楽しい。また受講したい」と話しました。

みまたにひろがれ
ボランティアの輪！



ボランティアまつり

3月14日、第7回みまたボランティアまつり（ボランティア連絡協議会・社会福祉協議会主催）が老人福祉センターで開かれ、約1000人が訪れにぎわいました。会場には献血やハンディキャップ体験、環境など17のコーナーが設けられました。ステージではミニコンサートも開かれ、舞踊や車いすダンスなどが来場者を楽しませました。今年は大正琴やフラダンスなどの生涯学習団体にステージ出演を呼び掛けたほか、来場者12人が新たにボランティア登録を申し出るなど、チームとなつている「みまたにひろがれボランティアの輪」が着実な成果を見せた年となりました。

文化を愛する人々
作品を一堂に展示



第17回文化合同展

3月16日から21日まで、第17回三股町文化合同展が、文化会館エントランスホール・ホワイエで開催され、約500人が来場しました。同展は三股町文化協会（田中正吉会長、78団体）主催による各団体合同の作品展で毎年開かれています。絵画や書、フラワーデザイン、木目込人形など8分野で学ぶ方々116人の力作、156点が展示されました。期間中は来場者や図書館利用者に、茶道を学ぶ方からお茶の振る舞いがあるなど、会場は落ち着きにあふれた雰囲気にも包まれていました。田中会長は「異分野の交流は合同展の意義の一つ。見る者の心を和ませ、文化の裾野が広がるような展示になればと願います」と話しました。

走って歩いて、春を楽しむ
RUN&ウォーキング



ウォーキングに出発

3600人が参加

第3回チャレンジRun&ウォーキング大会（同実行委員会、町教育委員会ほか主催）は3月14日、約3600人が参加して開かれました。健康づくりと生涯スポーツの普及を目的としているもので、毎年開催されています。

「ウォーキング」には1400人が参加。ふれあい中央広場を出発し、矢ヶ瀬公園、クリンヒルみまた、高才原大橋を通って同広場に戻る全長8.5kmの「すたすたコース」と、上米公園を折り返して同広場に戻る全長4.5kmの「てくてくコース」とに分かれて歩きました。参加者は暖かい日差しを受けながら、思い思いのペースで歩き一足早く春を満喫して

いました。

「チャレンジRun」は、小学生から一般まで、距離・性別・年代別の各種目にファミリージョギングを加えた42種目で行われました。参加した219人は自己新記録を狙う人やマイペースで走る人、ペアで完走を目指す人などさまざま。ゴール前では沿道の観客から大きな拍手が送られていました。種目別の優勝は次のとおり（敬称略）。

【男子】

- （小1年1*）西村健（4分20秒）（同2年1*）大久保希貴（3分54秒）（同3年1*）西村一貴（3分43秒）（同4年1*）大久保恭太（5分38秒）（同5年1*）福丸智貴（5分19秒）（同6年1*）上原将平（5分09秒）（中学5*）白尾健（16分52秒）（高校3*）七ツ谷幸大（10分35秒）（同5*）廣畑祐也（16分38秒）（同10*）吉留将矢（33分43秒）（29歳以下3*）バトリック・ペア（12分05秒）（同5*）内田貴史（15分24秒）（同10*）早田賢二（34分45秒）（30代3*）ピーター・ウィルス（11分53秒）（同5*）大久保誠（15分31秒）（同10*）米田透（33分56秒）（40代3*）高山一也（10分50秒）（同5*）今村正美（20分26秒）（同10*）去川信行（39分47秒）（50代3*）竹野勝伸（11分44秒）（同5*）園田正雄（22分11秒）（同10*）野崎久三（41分08秒）（60代以上3*）宮里春美（14分54秒）（同5*）

川添時義（20分18秒）（同10*）横山邦泰（40分30秒）

【女子】

- （小1年1*）池辺香楠美（4分41秒）（同2年1*）福永彩夏（4分01秒）（同3年1*）徳永夏希（3分45秒）（同4年1*）宮島恵里（6分46秒）（同5年1*）野元あかり（6分09秒）（同6年1*）中嶋歩（5分59秒）（中学3*）鈴木愛麗（10分37秒）（同5*）野崎成美（18分38秒）（高校3*）落合茜（10分50秒）



外国語指導助手シバさん（前列中央）も完走



スポーツドクターによる健康相談もありました



手をつないで仲良くゴール（ファミリーの部）

■会場・問い合わせ 三股町健康管理センター
☎52-8481 図52-1056

～あなたの「元気」は、まちの「元気」～
「平成16年度 事業案内」を作りました。ぜひご利用ください!!

この広報紙の中央に「パンフレット」が挟んであります。内容は「平成16年度に健康管理センターで実施する主な事業の紹介」です。

抜き取って1年間ご利用ください。事業の日程や詳細は、引き続き、広報紙や回覧などでご案内します。

5月の行事

●赤ちゃん健診

- 期日＝5月7日(金)
- 受付＝午後1時15分～1時45分

●すくすく教室

- 期日＝5月11日(火)
- 時間＝午後1時30分～3時

●1歳6か月児健診

- 期日＝5月13日(木)
- 受付＝午後1時～1時30分

●3歳児健診

- ＝3歳6か月児から7か月児が対象
- 期日＝5月17日(月)
- 受付＝午後1時～1時30分

親子ふれあい教室

親子が体を触れ合って遊ぶ教室です。「親子でできる遊びが知りたい」。そんな方はぜひお越しください。歌やボールなどを使ってみんなで楽しく過ごしましょう。

- 日時＝5月14日(金)
午前10時～11時30分
- 講師＝上村祐子先生(MWM日本キッズ協会認定インストラクター)
- 対象＝生後1歳6か月以上の幼児とお母さん(保護者)
- 募集定員＝40組(定員になり次第締切)

※あらかじめ申し込みが必要です。
※水分補給のためお茶や水を持参してください。おやつは食べられません。
※動きやすい服装で参加してください。
※保護者は体育館シューズ(上ぐつ)を持参してください。

予防接種(ポリオ)

- 日時＝5月12日(水)
- 受付＝午後1時～2時
- 受けられる年齢＝生後3～90か月
- 望ましい年齢＝生後3～18か月
- 注意事項＝他の予防接種との間隔は4週間以上あけてください。
- 持ってくるもの＝母子手帳、印鑑

骨粗しょう症健診

- 日時＝健診/5月10日(月)午前10時～骨太教室(結果説明)/5月24日(月)午後1時30分～
- 対象＝18歳以上女性、65歳以上の男性
- ※検査は1人10分程度かかります。
- ※検査は希望時間を予約できます。申込者に受診時間などの案内を送ります。

健康づくりのための休養指針③

「生活にリズムを」

睡眠時間・食事時間・自由時間など、生活にリズムを持たせ「休養」を取り入れましょう。

- 3) 睡眠は、気持ちよい目覚めがハロメーター(その1)

仕事の多忙やストレスなどで「睡眠で十分に休養が取れていない」と感じる人は23.1%に達します(平成8年度調査)。

眠らない・眠れない状況が続くと、生活習慣病を招く原因になったり、気分的に不安定になるほか、心の病気の初期症状である可能性もあり注意が必要です。

睡眠は脳を休ませる生理機能。睡眠中には、脳の酸素や糖の消費量が減り、老廃物が排泄されて、活動エネルギーが蓄積されます。睡眠はまさに「休」んで「養」うチャンスといえます。

休養…「休」は心身の疲労の回復をめざした受動的で静かな部分。「養」は様々な活動をととして生きがいやライフスタイルの創造を行う能動的で活動的かつ独自の高い部分です。

マザークラス

妊婦さんを対象に、妊娠中の栄養のとり方や呼吸法についての教室(全3回)を行います。3回目は「パパママ教室」です。ぜひ、ご参加ください。

- 1回目＝5月10日(月)
午前9時30分～11時30分/快適なマタニティライフの過ごし方、妊婦体操
- 2回目＝5月19日(水)
午前9時30分～11時30分/呼吸法、補助動作、妊娠中の栄養
- 3回目＝5月23日(日)
午前9時30分～正午/パパママ教室(パパの妊婦体験、沐浴実習など)
- ※母子手帳を持参してください。
- ※軽い体操のできる服装で参加してください。

「快適な睡眠」7つの法則(その1)

- ①快適な睡眠でいきいき健康生活
快適な睡眠は疲労を回復し、ストレスを解消します。睡眠で問題があると、生活習慣病をもたらす要因となります。
- ・定期的な運動で熟睡を導こう。
- ・しっかり朝食を取り、からだを目覚めさせよう。夜食はごく軽く。

②睡眠は人それぞれ

- 睡眠時間や睡眠パターンは個人差があります。特に年齢の影響を大きく受けます。睡眠時間の長短より、日中、自分が快適に過ごしているかが大切です。
- ・8時間睡眠にこだわらない。
- ・加齢とともに睡眠時間は短くなる。
- ・布団で長時間過ごすとお熟睡感は減る。

③快適な睡眠は自らつくり出す

- 不快な環境では安心して眠れません。睡眠環境を改善する工夫をしましょう。
- ・夕食後のカフェインの摂取は、寝つきを悪くします。
- ・「寝酒」は睡眠の質を悪くします。
- ・不快な音や光を防ぎ、自分にあった寝具を工夫するなど快適な寝室づくりを心掛けましょう。

■問い合わせ 三股町役場福祉保健課
☎52-1111(代) 図52-4944(代)

携帯電話基本使用料などの割引について

●社会福祉係(内線167)

障害者手帳(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳)を持っている方は、携帯電話の基本使用料および通話料等の割引が受けられます。

お申し込み、お問い合わせは「使用する携帯電話取扱店」にお願いします。

重度障害者タクシー料金助成事業

●社会福祉係(内線165)

町では、心身に重度の障害を有する方に対し「タクシー券」を交付します。福祉保健課へ申請してください。

■対象者＝(以下のいずれかを所持)

- 身体障害者手帳1級(視覚障害者は2級)・療育手帳A・精神障害者保健福祉手帳1級
- 必要なもの＝印鑑・障害者手帳

高齢者・障害者住宅改造助成事業の申請について

●高齢者/高齢者福祉係(内線162)

●障害者/社会福祉係(内線167)

在宅で日常生活を営むのに支障のある高齢者及び障害者に対し、より快適な生活が送れるように、居宅を改造する費用の一部を助成します。

■受付期間＝5月1日～随時
※予算の範囲内で受け付けています

■必要なもの＝印鑑・工事見積書・障害者手帳(障害者のみ)・課税証明書(高齢者のみ)

■対象者＝

- 高齢者＝65歳以上で、介護保険で「要支援」または「要介護」認定の方
- 障害者＝身体障害者手帳1～3級所持者(障害部位の限定があります)

※所得税・町県民税が未申告の場合はまたは療育手帳所持者
※いずれも「生計中心者の所得税が14

万円以下」の場合に限ります。

■対象となる改造箇所＝

- 居室、浴室、洗面所、便所、玄関、その他特に必要と認められる箇所

■対象外＝

- ・増築、新築
- ・過去にこの助成を受けている場合

■助成の割合＝改造費用の全額または2/3(生計中心者の所得税額で異なります)

※詳しくはお問い合わせください。

介護保険料の徴収が始まります

●高齢者福祉係(内線162・164)

平成16年度の保険料は下記のとおりです。

- 保険料は介護サービスの費用に応じて「基準額」が決まり、それをもとに、所得に応じて5段階に分かれています。
- 第1段階 被保険者 24,600円(年額)
- 第2段階 被保険者 36,900円
- 第3段階 被保険者 49,200円
- 第4段階 被保険者 61,500円
- 第5段階 被保険者 73,800円

■徴収の方法＝

第1号被保険者(65歳以上)で…

○特別徴収の方

4・6・8月は年金より仮徴収(2月分と同金額)され、10・12・2月から本徴収されます。

○普通徴収の方

7月から始まり、「納付書」「口座振替」で納めていただきます。

第2号被保険者(40歳～65歳未満)で…

○国民健康保険に加入されている方

7月から始まり、「納付書」「口座振替」で納めていただきます。

○職場の健康保険に加入している方

介護保険料率と給与に応じて、給与から徴収されます。

※所得税・町県民税が未申告の場合は保険料が高くなります。お済みでない方は早めに申告してください。

■問い合わせ 三股町役場税務課
☎52-1111(代) 図52-4944(代)

4月30日(金)は納付期限です

●納税管理係(内線145・146)

納付期限内に納付しましょう。

●固定資産税(第1期)

※口座振替は4月26日(月)が振替日です。再振替は行っていません。23日(金)までに預貯金口座の残高確認をお願いします。

軽自動車税の減免申請

●住民税係(内線144・147)

4月1日現在、軽自動車を所有している方で「軽自動車税の身体障害者等の減免」をされる方は、次の要領で申請してください。

■受付期間＝4月1日(木)～5月24日(月)※期日後は受付できません。

■持参するもの＝身体障害者手帳、戦傷病者手帳、運転免許証、車検証、印鑑など。※家族の方が運転する場合、上記以外に福祉事務所等が発行する証明書等が必要です。

■減免できる人＝障害の内容や級により異なります。税務課住民税係までお尋ねください。

■注意事項＝減免申請については、軽自動車もしくは普通自動車のどちらか一台に限られます。納期後(5月31日)の減免申請の取り消しはできませんのでご了承ください。

期限内納付にご協力ください

●納税管理係(内線145・146)

「町税」は、福祉や教育、環境保全、土木事業など、私たちの暮らしをより豊かに、そして住みよいまちを築くための貴重な財源となっています。

皆さんの「町税」「期限内納付」への一層のご理解ご協力をお願いします。

町税の納付は「安心・便利・確実」な口座振替のご利用を! たばこは町内で買います

春のまつり

つつじまつり
真紅のつつじ、6万本!

- 期間=4月17日(土)~29日(木)
- 会場=椎八重公園
- 期間中のイベント=
- ◎夜間照明
 - ・期間=4月17日(土)~5月5日(水)
 - ＜午後6時30分~9時30分＞
- ◎ガーデニング教室
 - ・期日=4月21日(水)
 - ※雨天=4月26日(水)に順延
 - ・時間=午前の部-10時30分~
午後の部-1時30分~
 - ・定員=各25人
 - ・参加料=1人500円
 - ・申込方法=会場事務所で当日受付。先着順となります(定員になり次第締切)。

早馬まつり 盆地の二大祭。4月29日開催

- 期日=4月29日(木・みどりの日)
- 会場=早馬神社境内周辺(ステージ・剣道大会・生け花・野点)、武道体育館(柔道大会)、弓道場(弓道大会)、四半的弓道場(四半的大会)ほか
- 内容=郷土芸能(ジャンカン馬踊り・棒踊りほか)、ステージ(文化協会・中学校吹奏楽部・早馬龍雲太鼓)、さつきの苗木プレゼント(午後3時ころ予定)など
- 問い合わせ
三股町観光協会(役場企画調整課内)
☎52-1111(内線243)

公共施設内の禁煙 庁舎等の施設内(館内)を 全面禁煙します

- 「健康増進法」の施行に伴い、町が管理する施設内(館内)は、4月1日から「全面禁煙」となります。喫煙者の皆さまのご理解とご協力をお願いします。
- 実施日=4月1日から
 - 対象施設=

- ・役場(庁舎)・中央公民館
- ・各体育施設(町体育館、武道館等)
- ・福祉関連施設(児童館等)
- ・各小学校および中学校
- ・総合文化施設
- ・健康管理センター 等

※町立病院は「完全分煙室」が設けてあります。

■喫煙者の皆さんへ=
喫煙は「館外の灰皿が設置してある場所」でお願いします。※やむを得ない理由で、館外に灰皿を設置できない施設もあります。ご了承ください。

※「健康増進法」は、「受動喫煙防止」を定めています
「健康増進法」の施行に伴い、三股町でも各施設利用者の健康増進のために、「受動喫煙防止」を図る必要があります。

「受動喫煙」とは、「タバコを吸わないのに、他人が吸うタバコの煙によって間接的に喫煙したことになること」です。受動喫煙の大きな問題の一つに、「非喫煙者の『健康被害』が喫煙者と同じになること」が挙げられます。

多数の方が利用する施設には、非喫煙者や妊婦の方、アレルギー性疾患を持つ方など、タバコの煙の影響を受けると好ましくない利用者も多くいます。そこで、健康増進法は第25条に「施設を管理する者は、非喫煙者に健康被害が発生しない措置を講ずるよう努めなければならない」と定めています。

※「タバコ」による「健康被害」
タバコの煙の中には約4,000種類もの化学物質が含まれ、そのうち、現在分かっているだけでも約40類以上の発がん物質、発ガン促進物質が含まれており、タバコが健康被害の要因として考えられています。

※「完全分煙」と「全面禁煙」

施設内での「受動喫煙」を防ぐためには、「完全分煙室(喫煙室とその他の空間を壁などで完全に遮断する)を設ける」と「施設内(館内)を全面禁煙にする」という2つの手立てがあります。

町では、これらを検討した結果
①管理する施設すべてに完全分煙室を設けた場合、多大な費用を要すること
②施設によって、完全分煙室の設置が技術的に不可能な施設があること
の2点を理由に、「施設内(館内)全面禁煙」とすることとしました。

喫煙者の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

■問い合わせ
財政課管財係
☎52-1111(内線232)

募集・消防団ラッパ隊員 三股町消防団ラッパ隊員を 募集しています

三股町消防団では、ラッパ隊員を募集しています。

消防団は、人々の生命と財産を守るために日々努力し自己を高め、いざという時には危険を顧みず任務を遂行する、世界的にも誇れるボランティア団体です。

この消防団の士気を高める役を担っているのがラッパ隊です。私たちと一緒にラッパの音を心に響かせてみませんか?

■活動内容=
消防団の式典(出初式ほか)、その他各種催し物での演奏

■対象=
三股町に居住する満18歳以上の男女

■経験=不問、未経験者歓迎

■問い合わせ
総務課消防交通係
☎52-1111(内線244)

学生の年金保険料 国民年金保険料 学生特例納付申請の受付中です

学生納付特例制度は、収入のない学生が申請をして承認されると、「在学期間中の国民年金保険料を後払いできる」仕組みです。承認基準など詳細については窓口にてご相談ください。

平成16年4月から17年3月までの学生納付特例を希望される方は、5月末までに役場国保年金係(役場1階・⑥番窓口)

に届け出をしてください。
なお、6月以降も随時受け付けますが、申請を行った月の前月から平成17年3月までの承認となります。

- 必要なもの=
・学生であることを確認できるもの(在学証明書や学生証の写しなど)
- ・印鑑(認印で可・申請者が自署する場合は必要ありません)
- ・年金手帳

※この届け出は毎年必要です。

■問い合わせ
国保年金係(役場1階・⑥番窓口)
☎52-1111(内線134)

国内・海外派遣 「2004年感動の旅 沖永良部島へ」 小学生国内派遣団員募集

町内の小学生を沖永良部島に派遣し、交流活動や各種体験活動を通じて異文化理解を深め、広い視野をもつ青少年の育成を図る目的で実施します。

- 派遣先=
鹿児島県沖永良部島
- 派遣期間=7月28日~8月2日(5泊6日)※変更する場合があります。
- 内容=文化学習、体験学習、自然体験、視察、交流など。
- 募集人員=30人(町内小学校6年生)
- 参加費=1人あたり30,000円
- 募集締切=4月30日(金)
- 申し込み・問い合わせ
生涯学習課社会教育係
☎52-1111(内線435)

「大自然と感動 オーストラリアへ」 中学生高校生海外派遣団員募集

町内の中学生、高校生を海外に派遣し、訪問国でのホームステイや青少年との交流を通じて、異文化理解を深めるとともに、広い視野と豊かな国際感覚を身に付け、国際化にふさわしい青少年の育成を図る目的で実施します。

なお、国際情勢の動向によっては事業計画を中止することもあります。

■派遣先=

- オーストラリア・ブリスベン
- 派遣期間=7月29日~8月12日(14泊15日)※変更する場合があります。
- 内容=ホームステイ、現地校での英語研修、参観活動など
- 募集人員=15人(三股中学校生徒と町内に住所を有する高校生)
- 参加費=1人あたり120,000円(パスポート発行手数料、ビザ申請手数料、旅行傷害保険料、疾病または事故による治療費や入院費、その他個人的経費は個人負担です)
- 募集締切=4月30日(金)
- 申し込み・問い合わせ
生涯学習課社会教育係
☎52-1111(内線434)

固定資産の縦覧 固定資産課税台帳の 縦覧等について

地方税法の規定により、平成16年度の固定資産課税台帳および土地・家屋価格縦覧帳簿を、次のとおり関係者の縦覧(閲覧)に供します。

- 縦覧(閲覧)期間=
4月1日(木)~30日(金)まで(土・日・祝日を除く)
- 縦覧(閲覧)時間=午前8時30分~12時15分・午後1時~5時
- 縦覧(閲覧)場所=
三股町役場税務課(1階・⑤番窓口)
- 縦覧(閲覧)できる人=
・固定資産の所有者本人
・固定資産の所有者の同意を得た者(委任状を持参してください)
・固定資産の納税管理人(届け出されている人)

※窓口に来る方の「印鑑」が必要です。
■手数料=縦覧期間に限り手数料はかかりません。ただし、証明書等が別に必要な場合は手数料が必要となります。
※ぜひこの機会を利用して、縦覧により課税内容をご確認いただき、固定資産の評価に対するご理解をお願いします。

■問い合わせ

税務課資産税係
☎52-1111(内線142・143)

「きりしまんぢだ

- 都城市/
ウェルネス都城霧島杯
第26期女王将戦第1局都城大会
- 日時=5月7日(金)
午前10時対局開始・午後6時終了予定
- 場所=霧島ファクトリーガーデン
- その他=霧の森ホールで大盤解説。有料の指導対局(予定)。
- 問い合わせ
都城市ウェルネス課
☎23-2115

●愛のご寄付●

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次のとおりいただきました。
故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。
誠にありがとうございました。

三股町社会福祉協議会
平成16年2月1日から29日まで

寄付者	続柄	故人名	年齢	地区	金額
山之内一博	父	邦翰	87	梶山	3万円
若松ちづ子	母	平島スミ	86	東原	2万円
南サチ子	夫	佐世一	73	俣田	2万円
原田年子	夫	寅美	79	上米	5万円
田中昭夫	母	カツ	86	前目	3万円
野崎修	妻	とみ子	49	小鷲巣	3万円
馬場猛弘	母	スエ	101	梶山	10万円
上村ノブ子	夫	茂	77	俣田	10万円
橋口フヂエ	夫	藤男	91	前目	10万円
下石武人	子	新樹	19	谷	3万円
日高宮子	夫	柳幸吉	76	大八重	5万円
野口英治	父	吉照	92	蓼池	10万円
上原千恵	夫	信夫	87	東原	5万円
永山陸津男	母	トメ	100	西植木	1万円
橋口由美子	夫	勝	58	都城市在住	3万円
木下ノブ子	夫	藤雄	73	上米	3万円
桑畑愛一	妻	アツ	84	仲町	10万円

「短歌」 三股町短歌会

子を背負ひま踏みせしもはるかにて
機械化となりしをテレビにてみる

桑畑とみ子

誇りとする文教の町三股なるを
種じゆの行事に沁みじみ思ふ

野崎厚子

北風の吹く日、子どもを背負つて歩み出した街が思い出されて、懐かし
くなりました。

「俳句」 三股椿俳句会

鋤焼も時世の流れ豚肉で

益山裕夫

花あれば花ごと茹でるほうれん草

榎田都

アメリカで狂牛病が発生、牛肉の流通が止まってきた。牛肉で焼肉をする予定だったが、牛肉を取りやめ、無難な豚肉を焼肉するに決めた。

若いころはレンジでおりやらないと料理を失敗するような気がして、花や根の部分を取り除いたものだったが、だんだん許容範囲が広がってくる。根も細かく切り刻んだり、花もあつた方がきれいというなどと思える。

わが家の一番星



1歳になり、ますますやんちゃなリズム!!
最近はお鏡を見るのがマイブーム
将来はモデル!?
歌手?女優?など
あなたもわが家の星です♡

おのりずむ
小野音澄ちゃん(1歳)

●平成15年3月24日生まれ
●匠さん・ひとみさんの長女



今年から幼稚園生。
お姉ちゃんと元気に仲よく行って、いっぱい友達をつれてね。

くまもと ゆり
隈元友里ちゃん(3歳)

●平成13年3月17日生まれ
●祥さん・明子さんの二女

お便りやイラスト、お子さまの写真を募集しています。

皆さまからのお便りを募集しています。ふだん生活で感じたことや皆さまへのお願いなどを400字以内、またアニメのヒーローなどをお書きの上お送りください。

わが家の一番星

3歳以下のお子さまの写真とコメントを添えてお申し込みください。

■問い合わせ 総務課秘書広報係 ☎52-1111(内線222)

茶しよけ
異動の内示を受け、暖かな日だまりに腰掛
けて4年間を振り返りました。全身を包む
愛おしみに満たされた春の光。私には想像も
ありません。ポロポロ泣かされた大事な相棒だ
った。鏡が身からぼろぼろと解かれていく気
がして涙をこらえました。Vのたひ担当
を離れます。取材と編集、印刷配布、大勢の
方々のお世話になり支えられて奮った親
しまれ信頼される広報紙を心掛けた。評
価は皆さんに委ねたいと思います。後任
は新原正人といっています。明るく陽気な先輩
です。カメラを手にあちこちお邪魔します。
人懐っこい彼見かけたらどうにかお声掛け
ください。皆さんの激励を何よりの喜びに
しとじこにやと頑張れたSからのお願いで
す。▽通算48冊、どのページを開いても思
い出は鮮やかです。出会いに感謝と元気を
もらった何物にも替え難い4年間。至らな
りました。皆さまにお礼申し上げます。あり
がとございました。Sにてお返す所(一)

みみた 暮らしのカレンダー 4

休日診療機関 ※診療時間 午前9時～午後8時 ※変更する場合がありますので☎23-5555でご確認ください。
※夜間/都城救急医療センター☎39-1100 ※歯科については☎25-4100でご確認ください。

4月

8 木	ペット・びん		
9 金	可燃物		
10 土		3 月	おおくぼクリニック(内) ☎26-1500(千町) 海老原内科(内・小) ☎64-1211(山田町) 田中隆内科(内) ☎52-0301(三股町) 三州病院(外・胃・内) ☎22-0230(花輪町) 速見医院(産) ☎24-8344(妻ヶ丘町) くぼた眼科(眼) ☎26-3100(南直尾町) 図書館休館日
11 日	有川医院(呼吸・胃) ☎24-6677(上川原) 西浦病院(内) ☎25-1119(広原町) 長倉医院(内・小) ☎52-2109(三股町) 福島外科(外・胃) ☎38-1633(都北町) 庄内医院(外・内・産) ☎37-0522(庄内町) 中山耳鼻科(耳鼻) ☎24-2648(妻ヶ丘町)	4 火	藤元早鈴(内・小) ☎25-1212(早鈴町) ベテスタクリニック(内) ☎22-1700(年見町) あきづき医院(内・心内) ☎36-0534(上水清町) 福田クリニック(外・骨・内) ☎46-1122(横原町) 山下医院(胃・外) ☎52-1348(三股町) 岩下耳鼻咽喉科(耳鼻) ☎51-1187(三股町) 図書館休館日
12 月	不燃物	図書館休館日	
13 火	可燃物		
14 水			
15 木	缶・トレイ	5 水	田口クリニック(内) ☎24-0600(下川原) 児玉小児科(小) ☎25-5570(花輪町) 宮下クリニック(内・皮) ☎37-0539(庄内町) 西平外科(外・胃) ☎25-5551(久保町) 永井整形外科(産) ☎51-1122(三股町) 野田医院(産・婦) ☎24-8553(横原町) 図書館休館日
16 金	可燃物	6 木	缶・トレイ
17 土		7 金	可燃物
18 日	宮永病院(内・胃・外) ☎22-2015(松元町) いづみ内科(内) ☎22-7111(鹿尾) たけしたこども医院(小) ☎51-0005(三股町) 野口脳神経外科(脳外科) ☎47-1800(太郎坊町) 寺本整形(産) ☎22-1171(北原町) 小山田眼科(眼) ☎22-0710(松元町)	8 土	城南病院(小・内) ☎26-3662(大玉町) 園田光正内科(内) ☎38-5115(太郎坊町) 三股町立病院(内) ☎52-1155(三股町) 浜田医院(胃・外) ☎22-1151(年田町) 大島整形(産) ☎38-0561(吉岡町) 永吉眼科(眼) ☎22-1530(辰野町) 図書館休館日
19 月	不燃物	図書館休館日	
20 火	可燃物		
21 水			
22 木	ペット・びん	9 日	柳田病院(小・内) ☎22-4862(東町) 稲津医院(内・産・婦) ☎23-7501(花輪町) 隅病院(胃・内・眼・外・婦) ☎62-1100(高輪町) マドコロ外科(外・胃・整) ☎22-0138(小松原町) 石井皮膚科(皮) ☎23-4588(高岡町) 北原医院(産・婦) ☎22-4133(北原町)
23 金	可燃物	10 月	不燃物
24 土		11 火	可燃物
25 日	柳田病院(小・内) ☎22-4862(東町) 稲津医院(内・産・婦) ☎23-7501(花輪町) 隅病院(胃・内・眼・外・婦) ☎62-1100(高輪町) マドコロ外科(外・胃・整) ☎22-0138(小松原町) 石井皮膚科(皮) ☎23-4588(高岡町) 北原医院(産・婦) ☎22-4133(北原町)	12 水	可燃物
26 月	不燃物	図書館休館日	
27 火	可燃物		
28 水			
29 木	柳田病院(小・内) ☎22-4862(東町) 稲津医院(内・産・婦) ☎23-7501(花輪町) 隅病院(胃・内・眼・外・婦) ☎62-1100(高輪町) マドコロ外科(外・胃・整) ☎22-0138(小松原町) 石井皮膚科(皮) ☎23-4588(高岡町) 北原医院(産・婦) ☎22-4133(北原町)	13 木	ペット・びん
30 金	可燃物	14 金	可燃物
1 土		15 土	
2 日	森山内科クリニック(内) ☎21-5000(南直尾町) 河村医院(内・小) ☎39-5868(梅北町) 山田医院(内・小・リウ・ア) ☎64-2816(山田町) 宗正病院(外) ☎22-4380(八幡町) ゆうクリニック(胃・外・内) ☎46-6100(広原町) すみ産婦人科(産・婦) ☎23-1152(東町)	16 日	野辺医院(内・胃) ☎22-0153(上町) 原田医院(内・小・外) ☎38-3330(都元町) 西川医院(胃・内・リハ) ☎51-2411(三股町) 都北数島クリニック(胃・内・外) ☎38-6060(都北町) 吉見病院(外・整・内) ☎58-5633(高城町) 丸田病院(産・婦) ☎23-7060(八幡町) 図書館休館日
3 月	坂元医院(内・胃) ☎22-0360(年田町) 久保原田中(内・小) ☎22-7700(久保原町) 大岐医院(内・骨・外) ☎57-2025(山之内町) 柳田病院(産・婦) ☎22-4862(東町) 土井外科(胃・外) ☎22-1825(上東町) ひたみ眼科(眼) ☎38-5532(都北町)	17 月	不燃物
4 月	不燃物	図書館休館日	
5 月	不燃物		
6 月	不燃物		
7 月	不燃物		
8 月	不燃物		
9 月	不燃物		
10 月	不燃物		
11 月	不燃物		
12 月	不燃物		

5月の予告



町のおいたち

三股町にはいろいろ発掘される土器から、新石器時代より各所に人が住んでいたことがうかがわれます。また、その名の起源は「古くから川三条、股になりて流れたり」という古い古書にあって、その名(三股)をとどめているといわれます。

徳川時代は薩摩藩に属し、明治初年五戸長を一元として、戸長役場と改称しました。当時の地頭三島通康公は荒涼たる原野に土木をおこし、産業を奨励し教育の振興をはかると村造りをなし、ここ三股の基礎が築かれたのです。

明治22年、町村制実施により三股村となり、昭和23年5月3日に町制を施行して名実ともに三股町として発足しました。以来自治の発展に努め、文化農村建設へと邁進し、さらに今や数多くの企業誘致により町民の所得向上をはかりながら住みよい、豊かな田園工業都市をめざして頑張っています。

町 窓

町のホイテュウを国産化したもので、外形は丸く内装が、すなわち和やかさを表し無限を意味しています。

町の花 サツキ

町の鳥 ホソジロ

町の木 イチョウ

三股町の人口

(平成16年3月1日現在)
男/11,544人 女/12,946人
計/24,490人(+4人)
世帯数/9,016戸(+17戸)
出生/18人 死亡/17人
転入/74人 転出/71人

No.404 2004.4

編集・発行/三股町総務課
7889-1995
宮崎県北諸県郡三股町五本松1番地1
TEL0986-52-1111 FAX0986-52-4944
URL http://www.town.mimata.miyazaki.jp/

R100 この広報紙は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

70年代フォークデュオ、復活ライブ

メロディー・コンサート

5月22日(土) 午後7時開演

1976年、ともに都城市出身の坂元昭二と福留淳一
で結成されたフォークデュオ、「メロディー」。
70年代のムーブメントは時を経てなお新鮮…
今、ここに復活のライブを。



■チケット 一般/1,800円
高校生以下/1,000円
ペア(一般2人)/3,000円

・全席自由・未就学児の入場はご遠慮ください。

～舞台を創ろう!!

未来の地域文化を育む“演劇プロジェクト”が始まります～

演劇ワークショップ「みまた座」

演劇監督 永山智行 (劇団「こふく劇場」主宰・劇作家・都城市)

“オリジナル劇の公演!”を目標に、一緒に“舞台づくり”に参加しませんか?
表現すること、創造すること…三股町の小中学生が演劇を通してそんな楽しみを体験し、
感性を磨き心豊かな人間に成長することを目的とした、演劇ワークショップ「みまた座」
が始まります。



■対象 20人・町内の小学5年生から中学2年生まで
※保護者の同意が必要です

■期 間 平成17年3月まで
■日 時 毎週木曜日/午後5時～6時30分
■場 所 文化会館リハーサル室

■内 容 演劇監督永山智行氏らの指導のもと、
・演劇の基本的な訓練を積み、その成果を発表する
・舞台づくりの基本知識を学び、安全で効果的な舞台をつくる
・ホールでのマナーを学び、ホールボランティアとして自主文
化事業に参加する
・習得した演劇や舞台づくりの知識を生かし、将来、会館事業
に積極的に参加する
などの活動を行います。

■参加者負担 月額1,000円程度 (保険料と諸経費・金額は予定)
■応募方法 ハガキに「住所・氏名・年齢・学校名・学年・電
話番号・保護者氏名」を記入の上、文化会館(〒
889-1901三股町大字榊山3404-2)に申し込ん
でください。直接来館して申し込んでも構いません。
■募集締切 5月末日

参加者募集中